事例No.	1268
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	熊本県八代市

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・ICT ・副業・兼業活用

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

ビジネスを軸とした関係人口創出・拡大事業

出典

令和２年度「関係人口創出・拡大事業」モデル事業調査報告書

(24) 熊本県八代市

事業名：ビジネスを軸とした関係人口創出・拡大事業

取組の概要

市民の IT リテラシー向上への啓発と市外での認知度向上を図る「ICT/IoT ビジネス先駆者セミナー」開催、副業人材による地元企業の経営課題解決に向けた「都市部の副業人材活用セミナー」開催、地域の若手経営者などによるソーシャルビジネスや共有価値の創造をめざした「やつしろ未来創造塾」運営といった３つのプロジェクトを展開。

主な成果

セミナーへの参加人数は、オンライン視聴者を含めて 1,074 名となった。地域への滞在人数は 25 名、滞在日数は 271 日となった（SUNABAKO の全国ネットワークなどが活かされた）。日本マイクロソフト、トヨタ自動車九州、地域金融機関など、中間支援的に協力した企業等との連携体制が深化した。

①事業の背景・目標

1) 関係人口によって解決・改善を図りたい地域課題

・求職者の希望が多い事務的職業や IT 関連職業の求人拡大のため、求職者の IT スキル向上を後押しする環境をつくる（仕事の選択肢拡大と人材育成）。
・地域に魅力を感じる若者が少ないため、地域の企業や経営者が新事業創出等にチャレンジしやすい環境をつくる（地域企業の新事業創出と業務効率化）。
・これらの改善により地域の魅力向上を図ることで関係人口の拡大を目指す。

2) 概ね５年後の地域の理想の姿

・地域の産業と新たに進出した企業等がバランスよく立地し、求職者が希望する仕事に就きやすい環境となっている。
・地域の産業は、２代目などの若手経営者が新たな事業を展開するとともに、都市部の副業人材等を積極的に活用して魅力的なビジネスを創出。また、協力関係にある自治体の企業等とも交流が盛んとなっている。
・それぞれの仕事、ビジネスの歯車がかみ合い、関係人口が拡大する。

3) これまでに取り組んできた関係人口関連施策の実施状況・成果

・以前は、製造業等の企業誘致による人口流入に期待したが、単に市内の既存企業との人の奪い合いになっていたため、地方での求人が少ない業種（事務的職業、IT 関連職業）での企業誘致に取り組んだ。
・一定の成果はあったものの、地域の IT リテラシーや魅力が向上しなければ更なる成果は難しいと判断し、現在は IT 人材の育成、都市部の副業人材活用、地場企業の業務効率化及び新事業創出などの取組を推進している。

4) 今年度事業の目標

目標	本市での取組が SNS 等で注目を集め、本市を訪れる人、滞在する人、オンラインで本市の取組に参加する人が多数現れる。
成果指標	①当該モデル事業で開催するセミナーの参加人数（会場での受付とオンライン視聴数により把握） ②当該モデル事業に関連する市外在住者の延べ滞在人数及び延べ滞在日数（関係者より把握）
目標値 （基準値）	①参加人数 560 人（オンライン含む）（基準値：０人） ②滞在人数 21 人、滞在日数 29 日（基準値：０人、０日）

②事業実施体制

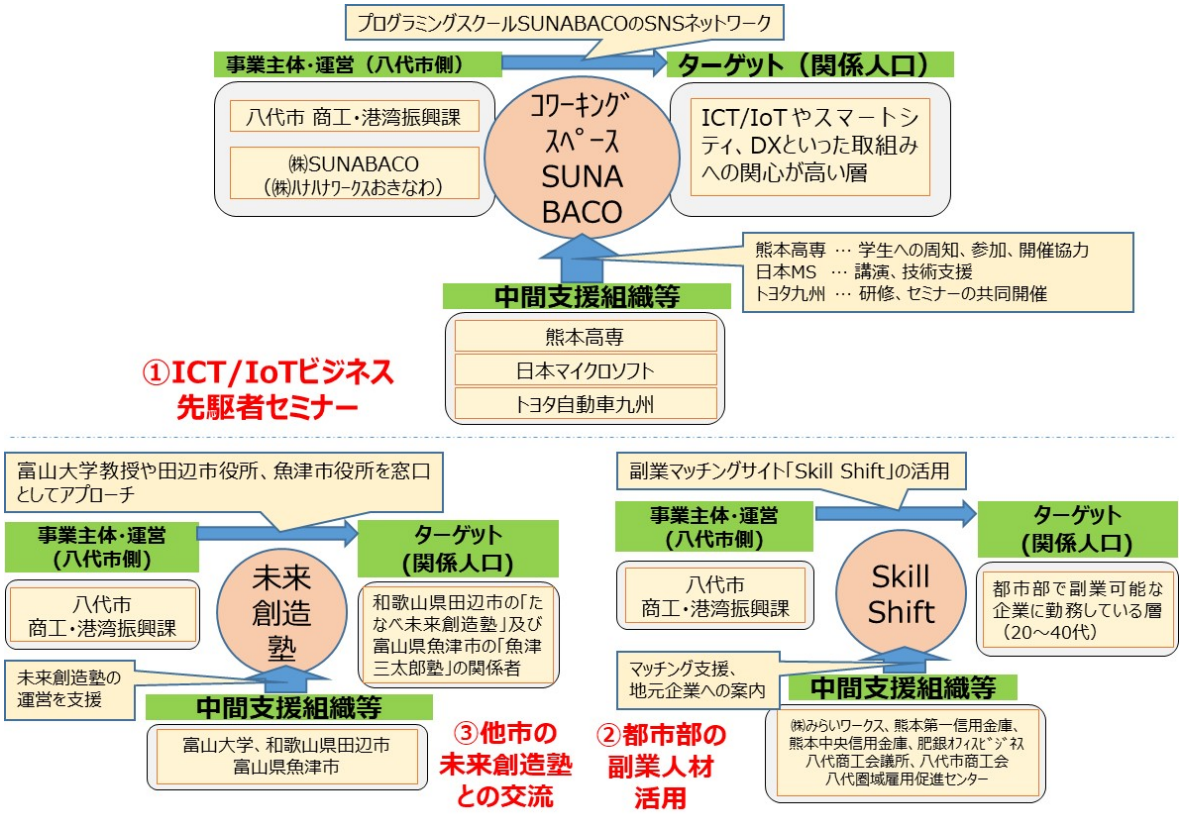
区分	団体・組織名称	役割
行政	商工・港湾振興課	事業統括、問合せ窓口、全事業の主体的な役割
行政	企画政策課	移住・定住を中心に関係人口創出・拡大に関する活動を担う
中間支援	熊本高等専門学校	プログラミングスクールや企業との連携など、教育機関の知見を活かし、事業全体を幅広くサポート
中間支援	㈱みらいワークス、熊本第一信用金庫、熊本中央信用金庫、肥銀オフィスビジネス、八代商工会議所、八代市商工会、八代圏域雇用促進センター	都市部の副業人材活用に関するプロジェクト関係者
中間支援	富山大学、和歌山県田辺市、富山県魚津市	未来創造塾に関して協力
地元受入主体	プログラミングスクール SUNABACO	事業全体の広報及び運営サポート。事業実施時の会場。ICT/IoT ビジネス先駆者セミナーの登壇者調整、関連事業の実施。

③ターゲット設定とアプローチ方法

ターゲット層	アプローチ（情報発信）方法	期待する役割・関わり方
ICT/IoT やスマートシティ、DX といった取組への関心が高い層	本市に立地するプログラミングスクール SUNABACO の全国の拠点（沖縄県沖縄市、北海道江別市、東京都中央区、香川県高松市など）の SNS ネットワークを活用	本市が開催するイベント等への参加や更なる情報拡散
都市部で副業可能な企業に勤務している層（20～40 代）	副業マッチングサイト「Skill Shift」の活用	地元企業と副業契約し、新事業創出や販路拡大、業務効率化に貢献
和歌山県田辺市の「たなべ未来創造塾」及び富山県魚津市の「魚津三太郎塾」の関係者	富山大学教授や田辺市役所、魚津市役所を窓口としてアプローチ	「やつしろ未来創造塾」の塾生との交流や連携

④事業スケジュール

時期	～7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
企画・準備等	関係者との調整		マイクロソフトに協力依頼					
取組① ICT/IoT		SUNABACO八代オープンゲゼミナー			地方都市から始めるDXセミナー		コロナ禍だからこそ！雇用調整術セミナー	
取組② 副業人材		地元金融機関等との調整			副業人材活用セミナー①			副業人材活用セミナー②
取組③ 未来塾		開講式導入講義	2日目講義 田辺・魚津取組み紹介	4日目講義 魚津と交流事例紹介	7日目講義 田辺と交流事例紹介			
成果報告等		随時、実績とりまとめ、予算管理、月次報告等の作成					成果報告作成	



⑤取組の内容

【取組1 「ICT/IoTビジネス先駆者」プロジェクト】

・本市が積極的にICT/IoTによる地方創生の取組を展開していることをPRするため、市内向けにはITリテラシー向上への啓発として、また市外向けには本市の認知向上を図るために、本事業として3回開催。

・関連事業として、SUNABACO八代を会場に様々な講師を招いた小規模のセミナーを全9回開催し、合計の参加者は会場220人、オンライン326人となっており、本市のITリテラシー向上等に寄与している。

第1回 7月24日 **SUNABACO八代オープニングセミナー**	・開催場所：八代市公民館 ・参加者数：183人（うち86人が市外在住） ・プログラム ➢オープニングスピーチ ➢トークセッション①(日本MS、SUNABACO) ➢トークセッション②(タレント、XVI、プログレス・テクノロジーズ、SUNABACO) ・都市伝説ネタで有名なタレントの参加もあって、告知後1週間で満席に。また、マイクロソフトのエンジニア、VR関連のご意見番など、SUNABACO代表のネットワークで業界の有名人が集まった。 ・アンケート結果では、回答者150人のうち、同様のイベントが開催されればまた八代を訪れたいかの問いに「ぜひ来たい」が58%、「都合が合えば来たい」が40%と高く評価された。
第2回 11月29日 **地方都市から始めるDXセミナー**	・開催場所：桜十字ホールやつしろ ・参加者：会場92人（うち市外19人)、オンライン67人（視聴ピーク） ・プログラム ➢[前半]トヨタ自動車九州・八代市のシビックテック研修「卒業制作発表会」（7チーム・25人が業務改善につながるアプリ等をノーコードで制作し発表） ➢[後半]日本マイクロソフト・トヨタ自動車九州による講演、関係者のトークセッション ・アンケート結果では、回答者49人のうち、感想として「とても良かった」が80%、「良かった」が20%、セミナー後、八代市の印象が「良い印象に変わった」が83.7%だった。
第3回 1月21日 **コロナ禍だからこそ！今後を見据えた新しい雇用調整術セミナー**	・開催場所：千丁コミュニティセンター ・参加者：会場7人、オンライン10人 ・プログラム ➢スキマバイトアプリ「タイミー」及びワークシェアリングサービス「タイミートラベル」の紹介 ・参加した農業者から「外国人技能実習生ではない、雇用確保の手法として、導入を検討したい」との感想があった。







【取組2 「都市部の副業人材活用」プロジェクト】

目的と概要

・都市部の副業人材とやる気のある地元企業をつなぎ、地元企業の新事業創出や販路拡大、業務効率化を後押しするため、地元企業等を対象に、副業人材活用セミナーを２回開催した。

・開催日時・場所・参加者

＜第１回＞11 月 10 日

＜第２回＞１月 10 日

- 開催場所：桜十字ホールやつしろ
- 参加者数：73 人



内容

・副業人材のマッチングプラットフォーム「Skill Shift」及び実際に取り組んでいる地元企業の事例紹介を行い、地元企業が都市部の副業人材を活用していく後押しを行った。

成果等

・事業参加者アンケートで、71.4%が「満足」と回答し、意見として、「事例紹介が分かりやすかった。機会があれば活用したい。」「活用予定があるので役に立った。」といった感想が得られた。

【取組3 「他市の未来創造塾との交流」プロジェクト】

目的と概要

・「やつしろ未来創造塾」運営のモデルとしている和歌山県田辺市の「たなべ未来創造塾」 及び 富山県魚津市の「魚津三太郎塾」との交流を図るため、本市の塾生を対象に、各塾の関係者を招いた講義を４回開催（開講式、第２回、第４回、第７回が本事業の対象）。

・開催場所・参加者
- 開催場所：SUNABACO 八代、八代市役所 仮設庁舎 東棟２階 21 号会議室
- 参加者数：本市の塾生及び関係者、延べ 96 人







内容

・今年度、本市が新たに取り組むこととなった「やつしろ未来創造塾」の中で、「未来創造塾」が目指す、地域課題と自社の課題を考え、ソーシャルビジネス、スモールビジネスの創出へとつなげていくことを具体的にイメージできるよう、先進事例の田辺市、魚津市に学ぶとともに、交流を深めた。

＜開講式＞　８月８日　導入講義
＜第２回＞　８月 29 日　田辺・魚津の取組紹介
＜第４回＞　10 月３日　魚津との交流、事例紹介
＜第７回＞　11 月 14 日　田辺との交流、事例紹介

成果等

・各回とも塾生の理解度は高かった。

	十分理解できた	大体理解できた	半分程度理解できた	計
第２回	46.7%	40.0%	13.3%	100%
第４回	40.0%	53.3%	6.7%	100%
第７回	84.6%	15.4%	0%	100%

⑥事業成果

1) 取組ごとの成果発現プロセス

		取組①：ICT/IoTビジネス先駆者セミナー	取組②：都市部の副業人材活用	取組③：他市の未来創造塾との交流
取組名				
取組の結果（アウトプット）		セミナー等開催：３回 (講師等招聘：延べ９人) 関連セミナー開催：９回	セミナー等開催：２回 (講師等招聘：延べ５人)	セミナー等開催：４回 (講師等招聘：延べ９人)
取組の成果（アウトカム）	関係の創出・深化に関する成果	本事業予算で開催した3回に加え、関連事業として開催した9回のミニイベントをあわせて、会場で502人、オンラインで403人の参加があった。また、滞在者：延べ25人、滞在日数：延べ271日。	2回合計の参加者は73人であった。また、地域企業の副業人材活用が1件あったものの、コロナ禍の影響もあって滞在はなかった。 参加者アンケートでは、今後の活用が期待できる感想も多かった。	4回合計で、参加者が会場で96人であった。 魚津市や田辺市の事例を学ぶ機会に加え、「たなべ未来創造塾」と一緒に同じ講座を受講する機会もあり、他市での認知度向上に繋がった。
	地域にもたらされた成果	北は北海道、南は沖縄まで、全国各地から、多くの方が八代市を訪れた。 市民のITリテラシー向上にも大きく貢献した。	まだ、実際に取組む事例は少ないものの、金融機関との連携が進んだことで、取組の周知が進んだ。	運営する市及び受講する塾生にとって、先行している塾のサポートを得られたことが安心感につながり、ビジネスプランも質の高いものが提案された。
今年度事業の目標達成状況		【今年度事業による目標達成指標（指標の実績値）】 Ⅰセミナー参加人数（オンライン含む）[目標値] 560人　に対し [実績値] 1,074人 Ⅱ滞在人数、滞在日数　[目標値] 21人、29日 に対し [実績値] 25人、271日		

2) 本事業全体を通じた成果

■ICT/IoT ビジネス先駆者セミナー関係

・コロナ禍で大学がオンライン授業となったこともあり、本市に所縁の無い学生が SUNABACO をきっかけとして長期滞在中。

・「SUNABACO オープニングイベント」には、北は北海道、南は鹿児島県まで、全国各地から参加者があった。

・SUNABACO は昨年市内に事務所を新設し、SUNABACO 関係者の中でも八代は一目置かれる場所となっている。SUNABACO 関係者は、SNS を通して親近感を高め、強い関係性を構築しており、各拠点間を往来する人もいる。今後の展開によっては、より多くの地域から八代への来訪を期待できる。

・トヨタ九州や日本マイクロソフトとの連携は、当初は想定していなかった成果である。市職員向けの研修を開始したことも含め、本市の内部でも成果が認められ、意識の変容を実感できる状態になってきた。

■都市部の副業人材活用セミナー関係

・関係者として一緒に事業に取り組む中で、金融機関との連携がかなり進んだ。日頃からのやり取りも増え、情報の共有やイベント集客への協力などは、以前にも増して得られるようになった。

■他市の未来創造塾との交流関係

・今年度、初めて取り組む事業だったため、最初は運営面どころか事業の主旨にも理解できていない部分があったが、メンターである富山大学の教授や田辺市の係長から細かなフォローを得られ、初年度ながら高い事業効果を得ることができた。

・この経験を次年度以降の運営に活かしていくことで、田辺市や魚津市のように、多くの新事業を創出していける基礎ができたと感じる。

⑦事業を通じた課題・気づき等

1) 事業の目標設定と達成に関する課題・気づき

・目標設定がセミナーへの集客であったため、新型コロナウイルス感染拡大による影響が大きかった。今後はコロナ等の影響を受けにくい内容と目標にしておく必要があると感じた。

・また、成果報告会でのアドバイザーからの助言にあったように、プログラミングスクールで育成した ICT 人材等が望む仕事に就けることを目指して本市の支援体制を確立していく必要があると思われるため、他市の事例などを参考に、より関係人口を呼び込める環境を整えていきたい。

2) 事業の実施体制に関する課題・気づき

・年度当初は、庁内、関係者含め、十分な実施体制が整っていたものの、令和２年７月豪雨の影響で思うように事業を進められない期間があったことに加え、係員の急な異動など不運に見舞われた。一方で、想定していた以上に SUNABACO 八代をはじめとする関係者の協力を得られたことで、予定していた事業は終えることができた。

3) ターゲット設定や募集・情報発信等に関する課題・気づき

・情報発信に関しては、SUNABACO 関係者の SNS ネットワークや SUNABACO の負担で招聘した集客に強いゲスト、また、大手企業との連携により、本市単独

では伝わらない層の方々にまで周知が行き届いた。また、副業人材活用セミナーに関しても、終盤に来て、金融機関との連携が進み、金融機関の顧客に対する周知ができた。

4) 各取組の実施・運営に関する課題・気づき

・期待以上に進んだこととして、SUNABACO を中心とした全国のネットワークの中で、本市の取組や、市民の ICT に対する関心が高まったことがある。また、その効果として、市役所、議会においても、一気に DX やスマートシティといった事柄を受け入れる機運が醸成された。

・未来創造塾に関しても、メンターである富山大学の教授や田辺市役所の係長から細かな部分まで手ほどきを受けたこともあり、塾生の新ビジネス創出につながる効果的な支援ができた。

⑧今後の関係人口創出・拡大に向けた展望

1) 本事業の成果の今後の活用・発展方向について

・ICT/IoT の推進に関しては、現在の盛り上がりを地域の魅力として定着させていくためにも、ICT 技術を生活の中に落とし込むとともに、八代の魅力として情報発信を行う。

・副業人材や未来創造塾についても、地域企業の新事業創出を後押しし、次々と生まれる新事業をもとに関係人口を呼び込む。

2) 地域における関係人口への期待について

・関係人口の目に映る地域の魅力を市民が理解し、ともに地域の魅力を磨き上げ、発信していく関係性を構築したい。

・また、その関係性で好循環を生み出し、地域に新たな魅力や価値を付加していく流れを創出する。

3) 今後の関係人口創出・拡大に向けた政策等について

・進出企業がもたらすインパクトとネットワーク、また、行政が企業に提示できる価値、地元企業が持つ潜在的な資源を有効に活用できる適切な関係性、連携体制を構築することで、地域の魅力を創出、発信し、関係人口を呼び込む仕組みを作る。

4) 地域における持続的な受入の体制・仕組みについて

・事業の効果を発揮するためには、関係者が互いにメリットを見出せる適切な関係の構築が必要である。常に自らの魅力を磨き、適正な価値で判断してもらえるパートナーと連携し、成果を残していくことで、長期的に良好な関係を構築できる地域としたい。